

● 広報

おくび



— 気持ちを一つに —

今年で3年目となる小規模校サミットが11月14日、小国高校で開催されました。コロナ禍の影響で、初のオンライン開催となりましたが、画面越しの参加者の緊張をほぐすために企画した「さくらんぼ体操」では、楽しそうに踊る小国高生の熱意が他校の参加者へも伝わったようでした。「来年こそは」とリアルでの再会を誓い合いました。

2020

12

No. 794

知事と若者の地域創生ミーティング i n 小国町



若者の持つ豊かな発想や行動力を地域づくりに活かそうと、吉村美恵子知事自らが県内の各市町村を訪ね、若者との対話を行う「知事と若者の地域創生ミーティング i n 小国町」が11月11日、小国町健康管理センターを会場に開催されました。10代から40代までの若者10人が参加し、今後のまちづくりなどについて意見を述べ合いました。今月は、若者たちが地域のために考えている熱い想いをご紹介します。

吉村知事からのメッセージ

開会のあいさつ

何かシナリオがあるわけではありません。皆さんが地域を良くするため、何を考え、何をされているのかをざっくばらんにお聞きして地域を盛り上げるために始めた事業です。短い時間ですが、楽しみにしています。

意見を聞き終えて

お一人おひとりの思いや願いを聞くことができました。皆さんの地域に対する思いを大切にしていてほしいです。将来の小国をどうするかは皆さんの肩や心にかかっています。皆さんの想いを実現できるよう、自分たちの考えをどんどんと出して行って下さい。町と県が一緒になってできることをしていきたいと思っています。

農地の有効活用を

進めたい



かんじゅう
遠藤寛寿さん（大宮）
大規模畜産農家

和牛繁殖と肥育の一貫した経営を目指しています。最近、農業をやる人がどんどん少なくなり、使われなくなった農地が多くなってきました。そこを簡易放牧地として牛の放牧を始めたことで、猿などの鳥獣が近寄らなくなり、地域のかたにも喜んでもらっています。これを継続、拡大し、さらに耕畜連携（稲作に使う堆肥等を畜産から提供し、逆に転作田などで飼料作物を生産するなど）を進めていければ、使われない農地の有効活用につながっていくのではないかと考えています。

熊肉をもっと

消費できる仕組みを

やまがた地鶏や米を生産し、宿泊するお客様に提供しています。それだけではなく、今年多数出没した熊も、もっと食卓に上がるような仕組みを作っていけたらと考えています。熊肉を販売しようとすると、山で仕留めたクマを解体せずに小玉川の解体場に運んだ後に解体する必要があります。そのため、南部で捕れた熊は解体可能ですが、他地区で捕れたものについては、運ぶことが難しいため、山の中で解体され、市場には上がりません。ジビエ料理などのせっかくの地域資源を、もっと活用できる仕組みづくりを、今後考えていきたいです。



たく
横山拓さん（小玉川）
家族で民宿奥川入を営
マタギ・山遭隊所属

みんなの「いいな」が

表現できる町に



げんき
佐藤元輝さん（あけぼの）
小国高校2年生

小国町を芸術の町にしたいと考えています。小国高校の白い森探究学という授業の中で、町内で音楽や美術で活躍されているかたに話を聞き、好きなものを表現することの面白さを教えてもらいました。町内には、絵の楽しさを伝えられる場所などが少ないように思えます。みんながそれぞれ考える「いいな」を表現して発表できるような場が増えれば、言葉が通じない国のかた達にも知ってもらえることができるのではないかと考えています。そのためにできることは何か、これから考えていきたいです。

町の魅力を

知ってもらいたい

町では、人口減少が進み、利用者が減ったことで施設の取り壊しなども増えているように感じます。私の同級生は80人ほどですが、町内に住んでいるのは20人もいません。もっと元々いた人が戻ってきやすい町になることが大切だと考えています。そのために必要なのは活気のある町になることです。私が参加した「古田歌舞伎」では、要請によっては、町外で披露することも考えられています。人口は減っているもののイベントや伝統行事が多いことを活かして、そういった町内の活気溢れるイベントを町外で披露して、町をPRしていくといいと思います。



より
保科心鏡さん（黒沢）
銀行員
古田歌舞伎役者

豪雪自慢してほしい



藤田梨絵さん（小玉川）
栄養士
小玉川青年団イチョロ代表

結婚や進学で小国を離れた子どもたちが、胸を張って帰ってきたくなるような町にしていきたいと考えています。自然の中で遊ぶことが子どもたちには大事だと思うので、「雪の中の大冒険」を続けて行き、子どもたちが楽しんでいくことで、豪雪を自慢できるようになってほしいと思います。そして、せっかくある横根スキー場の交通網が良くなれば、もっと集客できると思います。それに合わせて、離れた地域との公共交通機関での行き来も良くなればいいと感じています。地元には、私の子どもたちの同年代がまったくいない

で、どうやって同年代の子と育っていくかという課題も、交通機関が整備されることで、解消される部分もあると思っています。

木をもっと身近に



渡部顕治さん（東原）
白い森木工館で
木工品制作を担当

それぞれが自分に合った家具を作ったりする人が増えると嬉しいと感じています。家具を自主制作するDIYなどが流行している中で、町でもそういった人が増えて、木工制作の話題などで盛り上がるのができれば、楽しいことができると思います。町の事業で木育の一環として、芸工大と家具のオカムラと協同で、3歳児にあげる家具「ファーストファニチャー」の製作をしているのですが、

町内の木材でそういった家具ができることを子どもたちが知ること将来、ものづくりに興味を持った子どもたちが増えると嬉しいです。

つる細工（かご細工）を盛り上げたい



柳沢茜さん（伊佐領）
かご作家 東京都出身で飯豊町を経て小国町へ移住

伝統文化の継承という点、身構えてしまうので、自然豊かな「りふれ」などを会場に小国町のかごフェスを開催してみたいと考えています。昨年訪れたポーランドの世界大会が、気軽な気持ちで参加できるフェスのようなものだったのが、凄く楽しかったからです。また、つる細工を作る人や材料を採る人が高齢化し、後継者もいない状況です。そのため、材料が貴

重になってきています。材料がないため、かごが編めずにいるかたも増えていきます。そんな状況を解消するため、町で検討しているマルチワーク（季節ごとに様々な仕事に就くこと）が進んで、専門職ではなくても、材料集めを行える人が増えていくことも期待しています。つる細工を通して、お金のためではなく、自然や人の魅力で人が集まる町になれば嬉しいです。

自分でつくる喜びを知ってほしい



本間かりんさん（小玉川）
地域おこし協力隊
studioこま代表

芸術分野は、目に見えた成果が出にくいので、衣食住に比べると優先順位が低くなる場合が多いと感じています。ただ、絵を描くな

どの自分を表現することは感性を磨くことにつながると思うので、そういう場を増やしていきたいです。旧小玉川小中学校で絵のワークショップを行ったのですが、中心部から離れているため参加者が少なかったので、もっと地元の人が集まりたくなる工夫を考えたいです。また、移住経験者として、移住者と町のクッションとなるようなコミュニティを整備する活動が始めています。そういったものがあることで、移住者の心配を取り除くことができるようになればと思います。

都会や地方という垣根を越えて

日本各地の行き来が簡単にできるハードルの低い環境づくりに取り組んでいます。確かに小国町は好きですが、地方とか都会といった垣根を越えて、自分が住みたいところや働きたいと感じるところに行きたい人を受け入れる体制を作っていきたいと考えています。その中で、現在町で進めるマルチワークに期待しています。作

業をシステム化し、経験に頼らない仕事の流れを受入側で作ること、短い期間で働きながら勉強でき、独立するためのハードルを下げたいと考えています。そして、移住者を増やしていくために必要なことを考えた際に、移住者に話を聞いたところ、人に魅力を感じているかたが多く、「この人がいるから小国に移住した」という声をよく聞きます。小国の良さや強みを発信できる若者を育てていくことにも力を入れていきたいです。



たくま 渡邊拓磨さん（栄町）
きんたけ工房代表・林業士

移住者を増やすために

問題になっている少子高齢化を



なほ 保科奈緒さん（兵庫館）
小国高校2年生
小規模校サミットコメンタリー

解消するため、移住者を増やしたいと考えています。私がこれまでの経験で一番、町外のかたと触れ合ったのが黒沢地内で行われていた若者が交流する音楽フェスでした。今は無くなったそのイベントを復活させることが、町を知ってもらい良い機会になるので、移住者を増やすことにもつながると考えています。ただ、復活させるだけではなく、新しい要素を取り入れ、コロナ禍にも対応したイベントを考えていきたいです。

やいばこ

今回、参加された10人のかたそれぞれが熱い思いをお聞きするこ

とができました。町長からは「小国町が発信者となって、県内で同じ思いの人達をまとめて、進めていくことがあっても良いと思います。小国高校の小規模校サミットが良い例で、同じ考えの高校が大きな輪になって力になっていきます。小さい国の小国町から色んなことを発信して、色んなことを考えて、地域を元気にしていきたいように」と若者に期待を込めるメッセージが送られました。様々な想いを形にできるように町も一緒に考えていきます。



▲参加者が輪になり想いを伝えます



小国スカイランタンフェス開幕

(株)小国町地域総合商社による、小国スカイランタンフェスティバル2020が10月24日にりふれ、11月3日に道の駅おぐにを会場に開催されました。両日とも日中はあいにくの雨模様となりましたが、打ち上げ時刻に合わせたように雨は上がりました。参加者たちが思い思いのイラストを描いたランタンを夜空に放ち、幻想的な時間が流れていました。



◀ミラレンチを堪能



▲PEAKキッズダンスが盛り上げました



おぐにらしい暮らし方・働き方を探る マルチワーク体験ツアー



▲体験事業所での作業の様子

小国町には、マタギやつる細工など独特の文化と深く関わった「暮らし方」があり、キノコ狩りや山菜採収といった山の作業や米、トマトなどの農畜産業や除雪など季節ごとに様々な仕事があり「働き方」があります。こうした複数の仕事を組み合わせて働くことをマルチワークといいます。小国らしい就労により、本町への移住・定住者の増加を目指すため、11月2日〜9

日に就労体験者6名、派遣体験事業所7箇所によるマルチワーク体験ツアーを開催しました。参加者からは、「仕事をしながら、自然を体験できたことで、小国らしい暮らしはイメージ出来た」、「花きの栽培や流通について、体験したことはなかったから新鮮だった」などの感想が寄せられました。また、「初めての開催ということで、手探りの部分が多かったですが、試みとしては大変よかったと思います。課題は多いですが、次の機会もタイミングが合えば、是非受け入れたいです。」と体験を受け入れていただいた事業所は話してくださいました。『おぐにらしい暮らし方や働き方』を体験できることが、これから町のPRにつながっていくことを期待しています。

参加者大募集！！

白い森まるごと塾 Vol.15×ビジコン発表会

今回のまるごと塾は、栃木県鹿沼市で自宅を改装したカフェ「日光珈琲」を中心に、若者の創業の支援や、地域のイベントの開催など幅広く活躍されている風間さんをお迎えし、空き家活用やまちの再生などについてお話を伺います。

同日には、今年度のビジネス創出塾の参加者によるプレゼンイベントも開催します。皆さんの投票で決まるオーディエンス賞もありますので、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

■日時 12月13日(日) 13:30~17:45

白い森まるごと塾 Vol.15 13:30~15:15

「徹底した店づくりが旅の目的地になるのかもしれない
～路地裏から全国へ広がったカフェ～」

講師：風間総合サービス 代表取締役 風間教司氏

ビジネスプランコンテスト 15:30~17:45

1期生の活動報告、2期生のプレゼンテーション、審査、発表

■場所 おぐに開発総合センター 集会室

■問合先 総合政策課 (☎87-0821) へ





白い森おぐに駅伝大会 清々しい秋を走り切りました



白い森おぐに駅伝大会（兼）第63回地区対抗駅伝競走大会（小国町陸上競技協会主催）が、11月7日に総合スポーツ公園で行われました。

この大会は、タイムによる順位決定のほか、チーム毎に設定した目標タイムとの誤差で順位を競うといった、足の遅速によらず気軽に参加できるように工夫され、深まりゆく秋の中、楽しみながらも真剣にタスキを繋ぐ様子が印象的でした。

◇総合優勝：消防小国分署

◇地区対抗の部優勝：北部地区

◇目標タイム誤差の部：小国サッカースポス

最後の贅女の生涯を描く『贅女GOZE』上映会 黒沢峠も舞台に



10月31日、映画「贅女GOZE」上映小国町実行委員会による上映会がおぐに開発総合センターを会場に行われました。黒沢峠の地元黒沢集落から観覧に訪れた保科とも子さんは、「厳しいけれど、生きていくのに必要なことを教える母の様子は、今の時代にもつながる部分があるのではないかと思います。」と話してくださいました。また、他にも「目が見えなくても、体全身を使えばできるが増えるから、諦めないことが大事」といった感想もお聞きしました。厳しくも優しい母の愛に会場は感動に包まれていました。

『やまがた木育』 木のぬくもりに触れながら

森や自然の大切さを学んでもらうため、11月18日に小国町建築組合が置賜産杉材から作成したイス5脚を白百合保育園に贈呈しました。（置賜「地材地住」ネットワーク主催）園児たちは座ったりしながら、木の感触を確かめていました。



おぐにの子どもの日まつり 13名がよい歯の表彰を受賞



▲3歳児歯科健診の結果等により表彰されました

おぐにの子どもの日まつりが11月14日、おぐに開発総合センターで開催されました。よい歯の表彰式から始まり、バルーンアートや絵本まつりなど、様々な催しがあり、参加した子どもたちからは「楽しかった。また来たい」と言った声が聞こえてきました。



▲真剣な表情で落ち葉を使ったしおり作りに参加

小国のアスリートが躍動！ 山形県でNo.1に

小国中学校女子バレー部（創部初）、柔道男子個人50kg級で小池聖さん、柔道女子個人40kg級で加藤朱華さん（共に初）が山形県中学校新人体育大会で優勝しました。

また、米沢中央高校1年の伊藤未結さんが山形県予選を勝ち抜き、1月5日から開催される「第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会」に出場します。伊藤未結さんに全国大会に向けた、抱負を伺いました。皆で応援しましょう。



▲小国中学校2年小池聖さんと1年加藤朱華さん



▲小国中学校女子バレー部

キャプテンの佐藤鈴さん（2年）のコメント
「勝つために準備をしてきたので、優勝できて嬉しいです。来春の中体連では、全国大会を目指します」

頑張れ！！



米沢中央高校1年
伊藤未結さん

「春高は自分にとって夢の舞台であり、憧れのコートで1年生らしく思いっきりプレーをしたいと思います。3年生の先輩方と少しでも長くバレーができるように、精一杯頑張ります」

「早いもので半年が経ちました」

緑のふるさと協力隊 中原 凌

協力隊通信

series 56

秋も終わり待ちに待った冬の季節が到来ですね。

町民のかたがたからは「去年、雪が全然降らなかったから今年は沢山降るよ」と言っていたり、「今年は初雪が早かったから全然降らないよ」と様々な意見が聞こえてきます。今年はどうなるのか楽しみです。

僕が小国町に来てからあっという間に半年が経ちました。協力隊の研修の時にOBのかたがたから農山村の生活は初めてのことばかりで1年間があっという間だから、色々な事に挑戦して悔いの残らない1年間を過ごして下さいと言われたのを思い出しました。

今年はコロナがあり、町のイベント関係の手伝いがほとんどありませんでしたが、農林畜産業などを中心にお手伝いをさせて頂いたことで、お米も田植えから稲刈りまでの一連の流れを体験しました。そのおかげでお米の成長と共に四季を感じることもできました。

これから訪れる小国の冬を楽しんでいこうと思います。



▲雑穀の収穫作業も慣れてきました。
(帽子に可愛いお客さん)

地域の学び舎、冬季分校

⑧入折戸

新潟県との県境をはきみ本町の北側を流れる三面川。かつて、その上流部に、40戸ほどかなる三面集落がひらかれていました。「マタギの里」としても知られた三面は、昭和60（1985）年、ダム建設に伴い住民たちが集団移転し閉村となりましたが、それまでは幾世紀にもわたり、朝日山地の豊かな山の恵みを利用する自給的な暮らしが営まれていました。

この三面集落は新潟県旧岩船郡朝日村（現、村上市）にありましたが、古来、「小国へ7里、村上へ9里」と言われたように距離的には小国の方が近く、北部を中心に、本町の人々とも深い交流がありました。その、三面から来る小国側の玄関口となっていたのが、荒川の一支流、折戸川の上流に位置する入折戸

集落です。

「オレ、子どもの頃だから顔はよく分かんねえけど、（三面の人たちが）よく荷物を背負って小国で買い出しして、そして歩いて帰って行くの見た覚えある。その時に必ずオレの家さ寄って休憩してたもんだよ。」そう話すのは、現在も入折戸の一番上流側に作業場を構え、大工仕事をしている齋藤広栄さん（昭和25年生まれ）です。

多いときで10戸は家があったという入折戸。朝日連峰の山々に囲まれ、冬は、県境の尾根から吹き下ろしてくる強烈な季節風が大量の雪を積もらせます。

この雪深い山間の集落にも、昭和59年度まで冬季分校が開設されていました。長沢にあった本校（※注）までは4kmほど離れており、とくに低学年の児童

たちが冬期間通うには困難だったためです。

小学1年生から6年生まで入折戸の冬季分校で学んだという齋藤さん。「（入折戸）冬季分校は12月からだ。

『明日から冬季分校の生活になるよ』っていうと、うれしいうていうか、気が楽っていうか。やっぱり、吹雪のなか行ったり来たりすることがないし、朝げはゆつくりで良いしな。

当時は、着るものっていうても制服なんてねえし、どんぶくっていうか綿入れ着て、たつけ履いて。そうして通った覚えあるな。靴もねえから教科書は風呂敷に包んでよ。弁当も持ってた。温飯器をストーブの上さ置いて、そのなかにみんな弁当箱入れて。そして、温めて食ったな。」と言います。

教室が一つの小さな校舎。そこで兄弟姉妹、集落の子どもたちがみんな一緒に肩を並べて授業を受けていました。

「皆、顔見知りなわけだ、知らねえ子どもなんてもないし。だからもう和気あいあいと。

授業終わればバタバタと降りてきて、まとまってみんなで遊んだ。そうやって冬、集まって何かできるとこなんて学校しかなかったから、当時はよ。

あと、子どもながらに覚えてるけど、春になってくると凍み雪になるわけだ。そうすると、いつもだと行かんねえとこさも行けるもんだから、山に登ったり、あちこち遊び回ったり。それがすつごく楽しくてよ。天気良いときなんかは先生も遊びたくてしょうがねえから授業の代わりには外へ行って、スキーしたり、雪合戦をしたりとかよ。（雪）だるま作りなんかもあったな。あの頃は、遊びっていうてもそんなことしかなかったから、今みたいにいろいろあるわけでもない。それでも、今考えてみれば、そうやってみんなで遊んで面白かったな。やっぱり自然のなか遊ぶ。それが一番なんだと思うな。」と、齋藤さん。

そんな元気いっぱいの子どもたちを育む冬季分校を、地域の大人たちは力を合わせ、みんなを支えていました。毎年、開校



▲入折戸冬季分校（昭和33年）

前の校舎は道をはさんで川側にあったが、増水で流され、昭和33年に移転新築されたという。2階が教室で、1階の玄関に入ったところには体育室があった。また、向かって右側には先生の部屋（職員室）があり、左側にあった物置には、薪が置かれていたとのことである。（写真提供＝小国町役場）

前には学校で使う薪を各戸が分担して持ち寄り、また、雪がたぐさん積もれば、父兄が集まり共同で学校の雪掘りをしてくれた、と齋藤さんは言います。

さらに入折戸では、分校が地域の大人たちにとっての「憩い

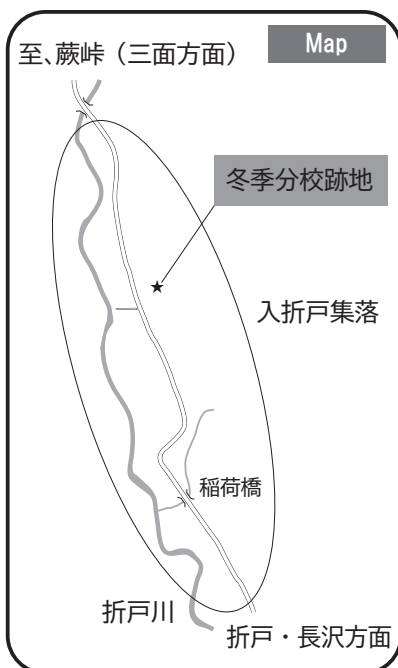
の場」ともなっていました。

「入折戸には公民館がなかったから、学校が公民館代わりっていうか、そういう感じだったよね。なんか特別な行事とかなくとも、共同作業のあととか、各家庭から漬け物持ってきた

り、ご飯持ってきたりしてよ。それでみんなで呑みましょうみたいな。やっぱり当時、冬なんてそんなにすることもねえし、それは地域の人にとって楽しみの一つだったのかも知れない。大人の衆がみんな集まることってなかなかないから、こういったことでもないよ。今で言えば父兄会っていうか、そんな感じで集まってた覚えがあるな。」

そう齋藤さんは話します。

折戸や荒沢、長沢など下流の村々だけでなく、峠一つ越えて三面ともつながっていた入折戸集落。しかし、厳しい冬の間は、人の往来も少なくなり、雪に閉ざされがちとなっていました。そのようなときでも入折戸では、子どもたちも大人たちも、みんながまとまり、活き活きと冬を過ごしていました。そしていつの日も、その賑わいの中心には、あの小さくも温もりのある冬季分校があったのです。



※注 明治6（1873）年、五味沢に五味沢小学校が創設され、翌年にその分枝校が長沢村に置かれた。それ以降、五味沢の小学校（五味沢小学校、五味沢尋常小学校など）の分校（分教場）が長沢に設けられたが、昭和28（1953）年、北小国村立中部小学校（翌年からは小国町立長沢小学校となる）として独立校になった。なお、『小国町立北部小中学校創立20回記念誌 ほくぶー美しい母校』（1992年発行）によると、入折戸冬季分校が開設されるようになったのは昭和12（1937）年からのようである。

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要をお知らせします。なお、詳細は町ホームページで公開しています。
(<http://www.town.oguni.yamagata.jp>)

■主な職員手当の状況（一般職）

（令和2年4月1日現在）

扶 養 手 当	・ 子ども 1 人につき10,000円、その他6,500円 （満16歳から22歳までの子につき5,000円加算）
住 居 手 当	・ 借家 月額16,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、 28,000円／月を限度に家賃に応じて支給
通 勤 手 当	通勤距離2.0km以上を対象に支給 ・ 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額55,000円／月 ・ 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円／月
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給 期末手当 勤勉手当 ・ 6月期 1.3月分 0.95月分 ・ 12月期 1.3月分 0.95月分 ※ 3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5％～15%の加算措置有り

（各年度一般会計決算）

時 間 外 勤務手当	区 分	支 給 総 額	1 人当たり平均支給額
	平成30年度決算額	28,176千円	296千円
	令和元年度決算額	36,093千円	380千円

（令和2年4月1日現在）

退 職 手 当	自己都合	応募・定年
勤続20年	19.6695月	24.586875月
勤続25年	28.0395月	33.27075月
勤続35年	39.7575月	47.709月
最高限度額	47.709月	47.709月
※定年前早期退職者に対して 2 %～45%の加算措置有り		

■特別職の報酬の状況

（令和2年4月1日現在）

		月 額	期 末 手 当
給 料	町 長	810,000円	6 月 期 1.675月分
	副 町 長	630,000円	1 2 月 期 1.675月分
	教 育 長	560,000円	合 計 3.35月分
報 酬	議 長	340,000円	6 月 期 1.675月分
	副 議 長	280,000円	1 2 月 期 1.675月分
	議 員	265,000円	合 計 3.35月分

※特別職の期末手当は、給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

■勤務時間（標準的なもの）

（令和2年4月1日現在）

1 週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

■休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏季休暇、社会奉仕活動など）

無給 介護休暇・組合休暇

■問合せ先 総務課行政管理室（☎62-2112）へ



町職員の給与・人事行政の内容を

■採用の状況

(令和2年4月1日)

	男	女	合 計
一般行政職	3人	4人	7人
医 師 職	0人	0人	0人
技能労務職	0人	0人	0人
そ の 他	0人	2人	2人
合 計	3人	6人	9人

■退職の状況

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

	男	女	合 計
定 年 退 職	1人	2人	3人
応 募 退 職	0人	0人	0人
普 通 退 職	3人	3人	6人
合 計	4人	5人	9人

■職員数の状況

(令和2年4月1日現在)

	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護 保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他 教育職	合計
令和元年度	96人	7人	4人	17人	44人	12人	1人	6人	1人	188人
令和2年度	96人	7人	3人	19人	43人	12人	2人	5人	1人	188人
増 減	0人	0人	-1人	2人	-1人	0人	1人	-1人	0人	0人

※町長、副町長、教育長を除いた人数です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(令和2年4月1日現在)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
標準的な職務	主事補・主事	主事	主任	係長・主査	室長	課長
職 員 数	24人	8人	12人	26人	14人	12人
構 成 比	25.0%	8.3%	12.5%	27.1%	14.6%	12.5%

■人件費の状況

(令和元年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (令和2年3月末)	歳 出 総 額 (A)	人 件 費 (B)	人 件 費 率 (B / A)	平成30年度人件費率
7,303人	6,239,708千円	917,973千円	14.7%	14.2%

■職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区 分	職員数 (A)	給 与 費				1 人 当 た り 給 与 費 (B / A)
		給 料	職 員 手 当	期末勤勉手当	計 (B)	
令和元年度	109人	398,039千円	87,147千円	161,569千円	635,237千円	5,828千円
令和2年度	110人	399,457千円	84,851千円	163,927千円	648,235千円	5,893千円

■平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区 分	令和元年度			令和2年度		
	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額
一 般 行 政 職	40.8歳	19.3年	307,500円	40.9歳	19.5年	307,300円
技 能 労 務 職	40.4歳	17.3年	239,400円	43.7歳	20.2年	252,500円

■初任給の状況

(令和2年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	182,200円	182,200円
	高校卒	150,600円	150,600円
技能労務職	高校卒	147,900円	—

■ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小 国 町	95.1	96.1	97.9
県内町村平均	98.4	98.1	98.1
全国町村平均	96.4	96.4	96.5

※ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。

令和2年度文化の日表彰式

令和2年度文化の日表彰式を11月3日、おぐに開発総合センターで挙行し、本町の振興発展に貢献された7個人、2団体を表彰しました。表彰内容と受賞者は次のとおりです。

■功労表彰

高橋 初太郎 氏（大石沢）

昭和57年から、「つる細工講習会」において、つる細工加工の伝承・普及、製作指導等に取り組まれました。また、永きにわたり、つる工芸の会会長を務められ、本町の伝統文化の保全と観光交流の振興に貢献されました。

故 山遊亭 金太郎 氏（千葉県）

本町出身の落語家として平成3年に三代目山遊亭金太郎を襲名、落語芸術協会の理事として活躍されました。本町では子ども落語の指導など芸術文化の普及に尽力され、白い森ふるさと大使としての観光交流の振興発展に貢献されました。

特定非営利活動法人

おぐにスポーツクラブYui

平成22年設立以来、総合型地域スポーツクラブの先導的モデル組織の一つとして、幅広い年代層を対象に各種事業を展開し、本町の生涯スポーツの振興と地域活性化に貢献されました。

特定非営利活動法人

飯豊朝日を愛する会

平成4年に活動を開始後、平成19年に特定非営利活動法人を設立し、飯豊・朝日連峰での山岳活動に関する事業を展開され登山の安全と情報発信、植生の保全活動等に尽力され、本町の山岳観光の振興と地域活性化に貢献されました。

■感謝状

嘉山 孝正 氏（山形市）

山形大学医学部長、蔵王協議会の主宰者として、小国町立病院の運営にご高配いただき医師派遣をはじめ本町の地域医療の充実と町民の福祉向上に貢献されました。

柏倉 悦子 氏（山形市）

故柏倉清助画伯が町民総合体育館の緞帳の原画を描かれて以来、活動地に加えていただいた本町に対し、多数の作品を寄贈され、本町の芸術文化の振興発展に寄与されました。

伊藤 政芳 氏（東京都）

多くの企業の商品デザインのプロデュース実績を活かし、ふるさと小国の白い森の商標登録やロゴマーク制作、ブランドストーリーの考案に尽力され、「白い森おぐに」の認知度向上に貢献されました。

故 13代東関

佐野 元泰 氏（東京都）

平成16年から始まった本町の東関部屋夏合宿を先代から引き継ぎ、平成21年以降は親方として11年間にわたり主宰され、町民との交流を重んじ、元氣と勇気を与えるとともに、多様な情報を発信され活力ある地域づくりに貢献されました。

■永年勤続表彰

駐在員（10年以上）

伊藤 剛貴 氏（田沢頭）

保護司 後藤秀一さんが法務大臣表彰を受賞

平成12年から保護司を務められている後藤秀一さん（松岡）が法務大臣表彰を受賞されました。

後藤さんは、罪を犯した人の更生のほか、再犯防止、犯罪・非行の予防等の活動も積極的に行い、西置賜地区の更生保護活動に貢献されました。

この他、東北地方更生保護委員会委員長表彰を佐藤修治さん（緑町）が、東北地方保護司連盟会長表彰（家族・内助功労者）を後藤千代子さん（後藤秀一さんの妻）が受賞されました。



踏切事故に気をつけましょう

1. 踏切の前では、必ず一旦停止し、安全を確認してから渡ってください。

冬季間は、路面凍結によるスリップに備え、踏切手前では、しっかり減速しましょう。また、積雪等により踏切が確認しにくい場合があるので、気をつけましょう。

2. 警報機が鳴ったら、踏切内へ無理な侵入はやめてください。

3. 踏切の中に閉じ込められた場合は、そのままゆっくり車を前進させてください。(遮断棒は、車で押せば前方に跳ね上がります。)

4. 踏切内で動けなくなった場合(脱輪等)は、まず、列車を止めてください。

・非常ボタンのある踏切では、カバーの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。・非常ボタンがない踏切では、安全な場所から、列車に向かって大きく手を振るなどをして危険を知らせてください。発煙筒や赤色の物を使用すると効果的です。・列車が停止した後、付近の人等の協力を得て脱出してください。

※脱出後は、最寄りの駅に連絡してください。

■問合先 町民税務課 (☎62-2260) へ

令和3年度中央児童室 利用申込受付について

■対 象 放課後に家庭で養育することができない小学校に就学している児童で、令和3年4月から中央児童室の利用を希望するかた。(現在利用中のかたも申込みが必要です。)

■申 請 書

12月1日(火)から中央児童室、各保育園、健康福祉課のいずれかでお受け取りください。

■受付期間・場所 12月14日(月)～18日(金)
8:30～18:00・おぐに保育園

■提出書類

小国町中央児童室入所申請書および必要書類

■定 員 80人(定員を超えた場合は、低学年を優先して入所決定します。)

■申込・問合先 おぐに保育園 (☎62-2242) へ

横川ダムの流木等を提供します

横川ダムでは、流木や管理上支障となるため、伐採した木を無償で配布します。

■日 時 12月26日(土) 8:30～

■場 所 横川ダム管理支所の叶水倉庫
(パークゴルフ場斜め向かい)

■配布木 直径5cm以上、長さ1m程度に切断済み。太さや樹種は様々です。

■注意事項

小国町内に住所を有するかた限定とし、無くなり次第終了となります。また、担当者の誘導に従い、各自で運搬・積込を行ってください。樹種等を選ぶことはできません。営利目的のかたは、ご遠慮ください。

■問合先 横川ダム管理支所 (☎65-2363) へ

入札結果情報(令和2年10月21日～令和2年11月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R2.11.20	令和2年度町道中石滝線改良舗装工事	石滝	R3.3.29	9,322,000	大和建設運輸(株)	9,300,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第1工区)	舟渡以北	R3.3.31	10,540,000	(株)高橋工務店	10,500,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第2工区)	金目・貝少外	R3.3.31	8,879,000	(株)船山工務店	8,800,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第3工区)	小渡・増岡外	R3.3.31	10,785,000	白洋社産業(株)	10,700,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第4工区)	西・幸町外	R3.3.31	11,981,000	(株)横川建設	11,900,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第5工区)	岩井沢・あけぼの外	R3.3.31	12,155,000	小国開発(株)	12,000,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第6工区)	東原・伊佐領外	R3.3.31	10,435,000	安部工業(株)	10,400,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第7工区)	東部一帯(下叶水線・白沼線)	R3.3.31	8,349,000	山和建設(株)	8,300,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第8工区)	南部一帯	R3.3.31	9,134,000	玉川開発(株)	9,100,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第9工区)	沼沢一帯	R3.3.31	8,454,000	遠藤建設(株)	8,400,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第10工区)	癒しの園	R3.3.31	4,238,000	斎藤建設(株)	4,200,000
R2.11.20	令和2年度町道除排雪作業業務委託(第11工区)	なごみ団地	R3.3.31	4,527,000	大和建設運輸(株)	4,500,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 1戸（4階）

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸（1階）

■対象

▽世帯状況に応じた所得制限あり

▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

①②共通

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 12月10日（木）

◎入居時期 1月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当（☎62-2431）へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 1戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間 12月7日（月）～12月11日（金）

■入居時期 2月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁舎（長井市）総合案内窓口

■問合先 県営住宅指定管理者（株）西王不動産置賜事務所（☎0238-24-2332）へ

お知らせ

12月分の上下水道料金から冬期暫定水量による請求となります

例年どおり、12月から翌年4月までは降雪により水道メーター検針ができないため、冬期暫定水量にて上下水道料金を請求します。

■冬期暫定期間

12月から翌年4月

■冬期暫定水量

11月の使用水量

※11月分と同額の上下水道料金を請求しますので、口座振替をご利用のかたは、残高をご確認ください。

※冬期暫定期間中に使用開始

する場合は、世帯人数により設定します。

■過剰納付の場合

翌年5月に精算し、翌月以降の水道料金に充当させていただきます。

■納付不足の場合

翌年5月に精算額との差額を合わせて請求いたします。

■問合先 地域整備課水道業務担当（☎62-2431）へ

置賜広域行政事務組合競争入札参加登録申請の受付

■受付対象

令和3・4年度定期登録申請

①建設工事

②測量・建設コンサルタント業務等

令和3年度追加登録申請

③物品納入・役務提供

■受付期間（土日祝を除く）

①②2月1日（月）～2月19日（金）

③1月15日（金）～2月5日（金）

※郵送の場合、当日消印有効

■申請・問合先 置賜広域行政事務組合事務局施設課

施設係（☎0238-26-7488）へ※申請等はHP（<https://www.okikou.or.jp/>）を閲覧ください。

やまがたオンライン環境展の開催

循環型社会及び脱炭素社会の形成を目指し、環境について楽しく学びましょう。

■日時 開催中～1月31日（日）

■特設サイトURL <https://www.yamagata-kankyouten.com/>

■内容 出展企業・団体による情報発信、山形ゆかりの著名人による環境保全メッセージ動画、表彰受賞者等の発表、豪華賞品があたるエコライフクイズ等

■問合先 山形県循環型社会推進課（☎023-630-2302）へ

電気柵購入費用の助成『県事業活用モデル事業』

町に電気柵の効果や検証データを提供できるかたを優先します。※詳細はHPをご確認ください。

■補助率 2分の1以内（補助上限20万以内）

■申請期限 1月15日（金）

■申込・問合先 産業振興課（☎62-2408）へ

12月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3歳児健診

- ・期 日 12月11日(金)
- ・受付時間 12:45~13:00
- ・対 象 平成29年4月、5月、6月、7月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ先

健康管理センター (☎61-1000) へ

子育て支援センターから

■12月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
クリスマス会	12月15日(火)	10:50~11:20・子育て支援センター ※お申込みは12/8(火)までに子育て支援センターへ	必要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

町内イベント中止関連情報

新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止することとしました。

◎地産地消の集い

■問合せ先

地産地消の集い実行委員会

事務局小国町商工会 (☎62-4146) へ

休日当番担当歯科医のお知らせ

12月6日(日)	米沢	五十嵐歯科医院	0238-22-1121
12月13日(日)	白鷹	佐藤歯科医院	0238-85-2422
12月20日(日)	南陽	村越歯科医院	0238-40-3295
12月27日(日)	米沢	伊藤歯科医院	0238-23-1538
12月31日(木)	高畠	高畠歯科クリニック	0238-58-0814
1月1日(金)	米沢	三條歯科医院	0238-23-2206
1月2日(土)	長井	寺島歯科医院	0238-88-2903
1月3日(日)	川西	松岸歯科医院	0238-46-3563

求 人 情 報

右の表は11月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

今月の納税 2020.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 12月28日(月) 水道料
- 12月25日(金) 固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料
- 1月4日(月) 介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
(株)ソルハ (ツルハドラッグ)	登録販売者 (ツルハドラッグ小国店)	2人	8:30~22:30の 間の8時間程度
安部工業(株)	現場監督員	2人	8:00~17:00
	一般作業員	1人	
	型枠大工	1人	
(株)山芳工務店	電気設備工(見習い)	3人	9:00~18:00
(株)コメリ	店舗運営職・幹部候補 (ナショナル社員)	1人	8:45~18:00他
社会福祉法人小国福祉会	介護員【年度更新】	1人	6:30~15:30他
	介護員	1人	
(株)旭林業	林業技術士、大型運転手	3人	7:30~17:15他
玉川開発(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
	重機械オペレーター	2人	
	技術者	2人	
セイワ建設(株)	除雪作業車オペレーター【臨時】	1人	5:00~12:00
	除雪作業員【臨時】	2人	

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

12月の あいイベント 小学生フットサル大会



- 日 時 12月13日(日) 8:30～
- 対象者 小学1～5年生
- 参加費 無料
- 持ち物 室内シューズ、飲み物等
- 申込締切 12月4日(金)

■申込・問合せ先
(☎62-5808)

特定非営利活動法人
おぐにYui
スポーツクラブ



PPバンドかご作り教室



山菜取りや畑仕事に便利なPPバンドで「はげご」や小物入れを作ってみませんか。

- 日 時 12月12日(土)・13日(日) 8:30～16:30
- 会 場 おぐに開発総合センター
- 定 員 先着10人（山形県在住の大人）
- 参加費 4,000円（保険料、指導料、材料代等）
- 持ち物 作業しやすい服装、昼食、
クラフト用はさみ（お持ちのかたは）
- 申込締切 12月8日(火)
- 申込・問合せ先
NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（☎62-5955）へ

相 談

▽休日・夜間 納税相談

◆受付内容

『町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料』の納付と納付に係る相談

◎休日納税相談

■日 時 12月13日(日) 9:00～16:30

◎夜間納税相談

■日 時 12月14日(月)～17日(木) 17:30～20:00

納税相談共通

■場 所 役場 町民税務課
(正面玄関よりお入りください)

■問合せ先 町民税務課収納担当へ

▽行政相談

■日 時 12月12日(土) 10:00～12:00

■場 所 役場

■対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏

■申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～ 休館日 毎週月曜日・祝日

◇開戦と終戦をアメリカに発した男	福 井 雄 三
◇ノモンハン秘史	辻 正 信
◇楽園の鳥	阿 部 智 里
◇獣たちのコロシウム	石 田 衣 良
◇赤ずきん、旅の途中で死体と出会う	青 柳 碧 人

年末年始の休館情報等について

	水道	町立病院 (一般外来)	小国中継施設 (リレーセンター)	町民体育館 あいべ	総合センター
12月29日(火)	設備佐藤 (☎62-5606)	休 診	通常営業	休 館	浴室のみ営業
12月30日(水)	山一住設 (☎61-0123)				
12月31日(木)	小関住宅設備 (☎62-5347)		休 み		休 館
1月1日(金)	パイプライン (☎62-2461)				
1月2日(土)	津島屋電機店 (☎62-2404)				
1月3日(日)	サトーメンテナンス (☎62-2944)				
問 合 先	地域整備課建設管理室	町立病院 (☎61-1111)	小国中継施設 (☎63-2251)	町民体育館 あいべ	総合センター

※町立病院では、急患については一般外来の休診日であっても対応いたします。
 ※ごみ収集については、全戸配布をしているごみ収集カレンダーをご確認ください。

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.19



①「おぐに白い郷土の森」

石滝中野地区から大規模林道に入り、小枕山トンネルを抜けた先に『おぐに白い郷土の森』が広がっています。森林浴歩道が整備されている在所平上空からヨモギ平を望むと、夏場は生い茂る樹々で隠れている金目川の源流が、落葉したことにより一筋の輝きとして現れていました。朝日山麓の麓であるここ一帯は、樹齢200年前後のブナを主とする広葉樹天然林が温存され、優れた自然景観を楽しむことができます。（今年度の入場ゲートは、冬期閉鎖されました。）